

小清水町

8329 徳梅 龍佑

1．概要と歴史

1.1 地名の由来

小清水という名前は、明治 24 年駅逓所設置の際に、止別川の支流「ポンヤンベツ」(小
さな・冷たい・川)を意識したものを起源としている。

図 1 町の樹、ミズナラ



出典：小清水町 HP

図 2 町の鳥、オオハクチョウ



出典：小清水町 HP

1.2 小清水町の歴史

現在の小清水という町の名前になったのは、ごく最近のことである。かつて小清水町は隣接する斜里町の一部であった。斜里町(旧斜里村)は 1919 年に小清水村(現在の小清水町) 1943 年に上斜里村(現在の清里町)を分村し、そして 1953 年の町制施行で小清水町とされて現在に至るのである。

1.3 小清水町の地図・地理

小清水町は北海道の東北部、網走支庁管内斜里郡の西部に位置し、町の北側は全面がオホーツク海に面し、東は斜里町、清里町と、西は網走市、大空町と、南は釧路支庁管内弟子屈町と接しており、総面積は 287.04 平方キロメートル。北緯 43 度 51.2 分、東経 144 度 27.6 分である。

図 3 小清水町の位置

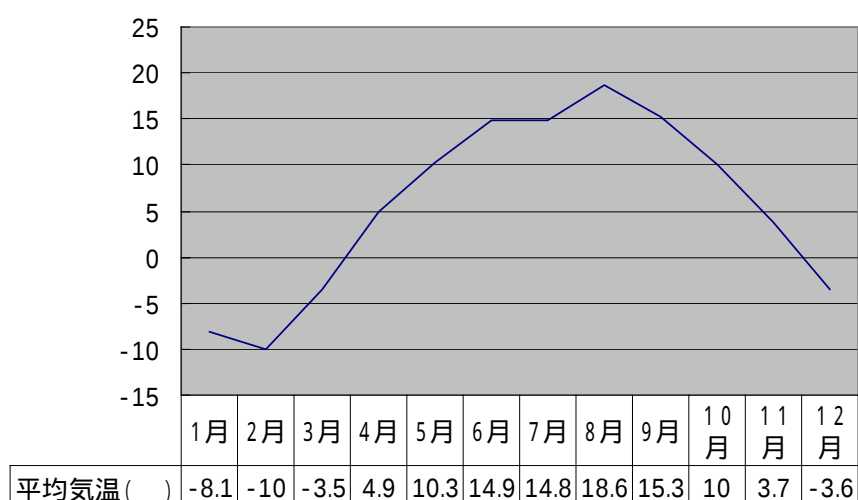


出典：オホーツクネット

1.4 小清水町の気候

以下に示すのは 2003 年度の小清水町の年間平均気温の推移である。小清水町はほぼ南北に長い長方形の形状を示し、オホーツク海の影響を受ける「オホーツク海区型気候」と内陸性気候に近い「亜寒帯多雨気候区」の 2 つの様相が連結混交する気候環境にある。また年間を通じて降水量は少なく、日照率の高さは全国でも有数である。冬は雪が少なく、海には 2 月から 3 月にかけて流氷がやってくる。

図 4 小清水町の気温

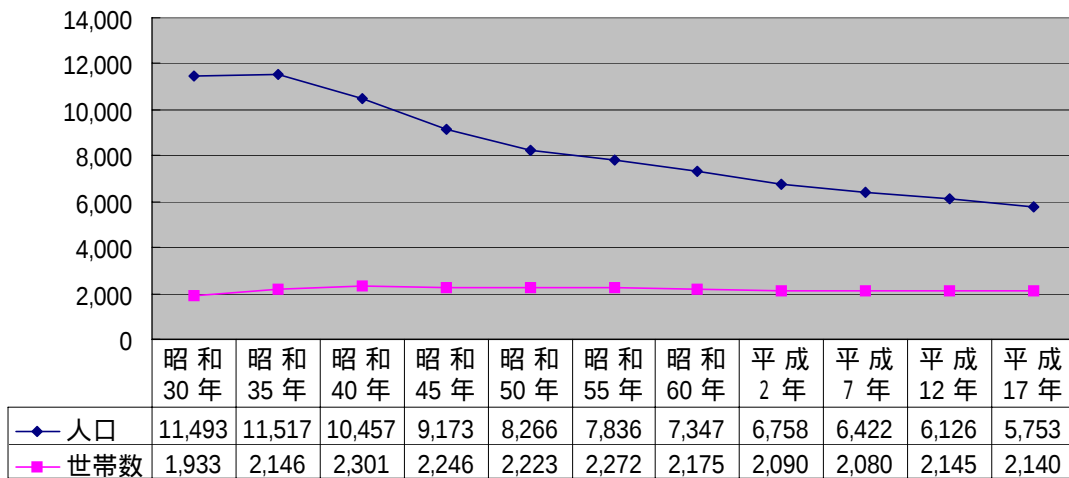


出典：小清水町 HP

2.人口

下記の図 5 からわかるように、小清水町の人口は年々減少している。昭和 30 年と比較してみると、その数はほぼ半減している。世帯数とも合わせて考えると、世帯数に大きな変化が見られないのにもかかわらず、人口は変わらず減少していることから、一世帯あたりの構成人数が減少していることがわかる。人口の減少は深刻な問題らしく、小清水町はなんと町の公式ホームページで宅地分譲を行っている(移住・定住・留学のページ)。分譲価格は、一坪あたり 4000 円～5000 円で、好評分譲中だそうだが、世帯数の小規模な変化から、おそらく分譲状況は芳しくないのだろう。分譲の条件として、別荘は認めないとしているところからも、小清水町の焦りが伝わるようである。

図 5 小清水町の人口・世帯数の推移

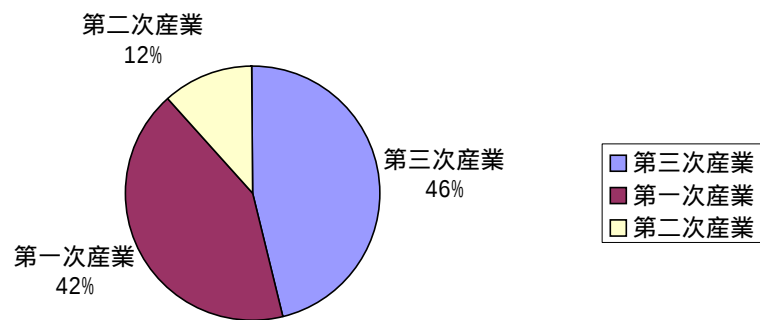


出典：網走支庁 HP

3. 小清水町の産業

3.1 産業別人口

図 6 小清水町の産業別人口



出典：網走支庁 HP

小清水町は、農業では畑作、酪農が発達しており、じゃがいも、ビート、小麦などが生産されている。また、小清水町は多くの観光名所（後述）を持つので、第一次産業とほぼ同じだけの割合を保つ第三次産業にも納得できるだろう。農林漁業の就業者数を以下に示す。

表 1 農林業別就業者数

総数	農業	林業	漁業
1,307	1,265	31	11

出典：網走支庁 HP

3.2 農業

表を見ても明らかなように、農産物の産出が著しい。前述した酪農、じゃがいも、ピート、小麦などのほかにも、アスパラ、トウモロコシ、メロン、ニンジン、カボチャ、ゴボウ、タマネギ、大根といった野菜類の生産、また花卉栽培も盛んである。

また、町と JA こしみずは「ゆう水事業」を行ってきた。人の手で、1 世紀へ超えて収穫を繰り返してきた畑は、だんだん有機物が減り、その有機物を餌にする微生物も姿を消していく。さらに、農業の基本というべき土が、機械化や農薬の大量散布によって、著しい疲弊を余儀なくされていた。「もっと畑をいたわり、土を癒さなければ、ほんとうに味がよく、安全で栄養価の高い農作物は収穫できない」。そんな思いから小清水町は「土づくり対策推進協議会」を設置し

図 7 ゆう水事業

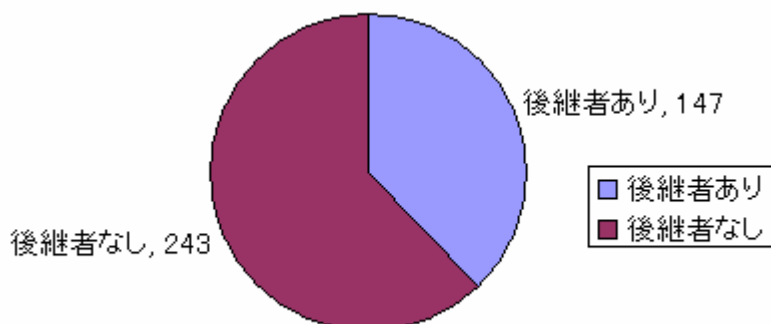


出典：JA こしみず HP

て、「土づくり」の研究に取り組み、平成 6 年に澱粉工場廃液や家畜の糞尿を土壌菌群（微生物）で液肥化して、町独自の「ゆう水」をつくることに成功。これにより、土を若返らせるとともに安全で栄養価の高い農産物を育てることが可能になり、環境改善に伴う酪農のイメージアップ、化学肥料の使用減少にもつながっている。小清水町は、化学肥料や農薬に頼りすぎる農業からの脱却という重い課題を、自力で解決しようとしているのである。

しかし、人口の減少からも推測されるように、農家の後継者不足などが問題となっている。以下に示すのは農業経営体数である。

図 8 農業後継者の有無（人）



出典：網走支庁 HP

上記のように、半数以上の農業経営体に後継者がおらず、これに対して小清水町は平成 6 年より農業体験実習を行い、小清水町の農業に関心のある青年（女性）を広く受け入れ、農家での生活体験や地元の農業青年との交流を行いながら、農業の魅力や役割などの理解を深め、小清水町担い手支援事業の促進を図り、問題解決に努めている。旅費の半額負担、滞在費用は不要など、小清水町が積極的に農業体験実習を行っていることが窺える。平成 6 年より現在まで、小清水町は体験実習生である 50 名以上を受け入れている。

3.3 林業

林業の就業者数は 31 名(表 1,農林業別就業者数)と非常に小規模ではあるが、小清水町において、林業経験者の活躍の場は意外と多い。平成 18 年度には地元小学生および地域住民を対象とした「小清水町育樹祭」を開催、内容としては枝打ち等の林業体験、また森林教室などを行った。参加者は小清水町の小学校三校(計 100 名程度)で、注目度も高いと言えるのではないだろうか。また、育樹祭の開催場所となった止別国有林「治山の森」であるが、その遊歩道である「止別海岸・治山の森遊歩道」は、網走南部森林管理署の退職者や林業経験者らが集まり、町内の森林環境整備に積極的に取り組み、町民の憩いの森林をつくろうと平成 12 年に設立されたボランティア団体「小清水森へ導く会」が、国土緑化推進機構の助成を受けて資材を調達し、設計・搬入・組み立てなどの作業はすべてボランティアで行い、平成 14 年 4 月に完成したものである。小清水町の林業就業者からは、少数ながらも積極的に地域に関わり、自分たちの町をよりよくしていこうという意思が感じられる。

図 9 小清水町育樹祭の様子



出典：北海道森林管理局 HP

図 10 止別海岸・治山の森遊歩道



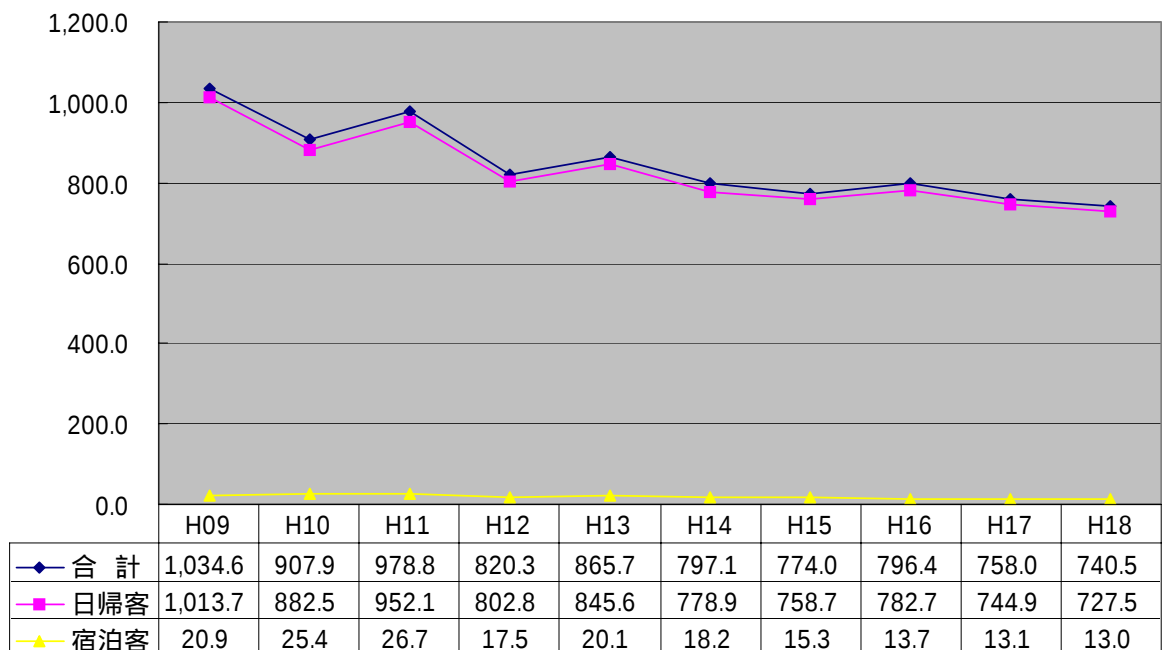
出典：小清水町 HP

4. 観光

4.1 観光の問題

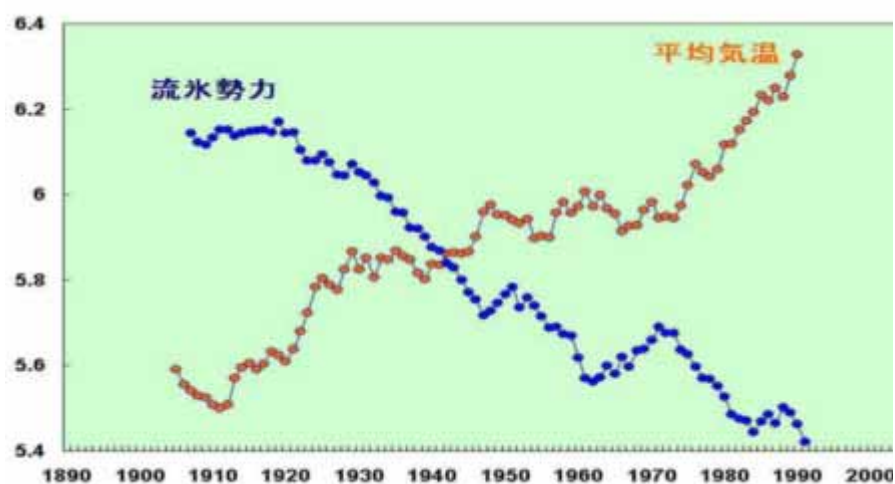
小清水町含む網走管内では、年々観光客が減少していることが問題になっている。以下に示すのは平成 9 年から 18 年の小清水町の観光入り込み客数である。

図 11 小清水町の観光入り込み客数



原因として、温暖化による流氷の減少、同じ網走管内である知床の世界遺産としての集客効果の減少などが考えられるだろう。それらを踏まえて小清水町及び網走管内は、温暖化に対する取り組み、新たな観光名所の考案を行っていかねばならないだろう。

図 12 流氷勢力と平均気温の関係



出典：流氷科学センター

4.2 小清水町の観光

小清水町は、公式ホームページで小清水町を「ゆりの花と熱気球のあがる町」としており、小清水原生花園と「オホーツク小清水流氷バルーンフェスティバル」が有名である。

図 13 エゾスカシユリ

小清水原生花園は北海道内外から年間 80 万人を超える観光客が訪れる網走国定公園である。6 月から 8 月にかけて、約 40 種類の花がその時々で楽しむことができ、6 月中旬から 7 月下旬がもっとも美しい時期となり、色鮮やかな花々で原生花園が賑わう。その 7 月になると、町花であるエゾスカシユリやエゾキスゲ、ハマナスなどの代表的な花が咲きそろい、黄色やピンク、紫といった色とりどりの天然の花畑がみられる。



出典：小清水原生花園 HP

また、二月ごろ、冬の風物詩「流氷」が接岸する小清水町は、気流が安定し、熱気球のフライトに絶好の気象条件となる地域として知られており、日本で唯一上空から真っ白な見渡すかぎりの「銀世界」と、オホーツク海を覆いつくす「流氷」をダブルで楽しめる地域として、北海道内、本州地方、遠くは九州方面からも熱気球マニアが自慢の熱気球を持って訪れる。また小清水町も日本最大の熱気球「アース・ウィ・ラブ号」を所有しており、この熱気球のフライトを楽しみながら、眼下に広がる流氷の海を眺めるイベントが、2 月 16、17 日に開催される「オホーツク小清水流氷バルーンフェスティバル」である。一般の来場者も熱気球フライト体験ができ、上空から流氷を眼下に「感動的なひがしオホーツクの大パノラマ」を一望できる。

図 14 バルーンフェスティバル



出典：小清水町 HP

参照 HP

オホーツクネット

<http://www.ohotuku.net/>

welcome to KOSHIMIZU ~ 小清水町ホームページ

<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/index.html>

北海道網走支庁のホームページ

<http://www.abashiri.pref.hokkaido.lg.jp/index.html>

小清水原生花園ホームページ

<http://www.dosanko.co.jp/koshimizu/guide/gensei/>

北海道立オホーツク流氷科学センター

<http://www.giza-ryuhyo.com/>

北海道森林管理局ホームページ

<http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/kyoku/index.html>

JA こしみずホームページ

<http://www.okhotsk.or.jp/ja-koshimizu/sisetsu.html>